

広島県中小企業団体中央会 2022年8月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

8月の出荷量は前月比▲13.3%、前年同月比▲8.4%となり、売上高は前月比▲6.8%、前年同月比▲1.5%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

原材料をはじめ諸経費が値上がりして収益を圧迫している。人流の規制が緩和され、人の動きが増えてきたため、消費が徐々に増加することを期待している。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

- ・8月は、7月に続き、生産が少ない状況。原材料の価格上昇は続いており、販売価格への転嫁が当面の課題である。
- ・経済活動が活発化し始めているので、これからは、徐々に回復していくと考えられる。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・令和4年6月の新設住宅着工戸数は72,981戸で前年同月比▲5.4%、季節調整済年率換算値では825千戸（前月比▲2.4%）となった。
- ・利用関係別では、持家は22,406戸で前年同月比▲14.1%、貸家は29,668戸で+1.5%、分譲住宅は20,612戸で+4.0%、また木造住宅は71,731戸で対前年同月比▲6.6%であった。
- ・住宅着工動向は全体では前年同月比は15カ月続いた増加の後の3カ月連続の減少となった。特に持家は8カ月連続で対前年同月比減の低水準が継続している。また、木造住宅は木材価格に落ち着き見え始めたが、昨秋以降対前年同月比はプラス～横這いだったものが4月以降減少に転じており、今後の動向を注視していく必要がある。

【広島県】

- ・今年7月の着工戸数は1,718戸で、対前年同月比+20.7%、うち持家は422戸で▲14.4%、貸家は786戸で+53.8%、分譲は509戸で+22.1%であり、県全体の住宅着工動向前年同月比は11カ月連続で増加した後、3月に減少したものの4カ月連続の増加を維持している。しかし、貸家や分譲、特にマンションが上向き要素となって都市部中心の伸びとなっており、持家は都市部も含め全域で減少している。
- ・木材製品の在庫が工場段階で増えつつあり、合わせて木材価格の高止まりが落ち着き、ヒノキでは丸太価格が下がり始めたが、建築資材や住宅設備の品薄や高騰等で住宅建築が進まないとの見方もあり、一部のプレカット工場では稼働率が上向かない工場も見られる。円安の進行、燃料費高騰による運賃や電気代の高止まりなど、周辺環境の悪化への懸念があり、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。

福山木材協同組合

着工が伸び悩み、木材・合板ともに余ってきているため、これらの値段が下がる可能性がある。

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

昨年よりは、受注件数などが戻りつつあるが、コロナ前の水準には戻っていない。今年に入り電気代が高騰しているため、省エネ対策を図っている。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

- ・自動車の減産に加えて原材料価格、運賃、エネルギー価格の上昇に対して価格転嫁が思うように進まず苦しい状況に陥っている。
- ・さらに、ウクライナ情勢、中国における電力不足などにより世界中のサプライチェーンが乱れつつある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・急激な円安も背景となり、諸材料の大幅な値上げが事業採算を大きく圧迫している。
- ・自動車関連は、回復傾向が見られるものも、依然として先行きの見えない不透明感が強い。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和4年8月 2. 487 m³ (対前年比113. 8%)

令和4年7月 2. 652 m³

令和3年8月 2. 186 m³

・令和4年度想定数量 下降修正 780. 000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●金属製品

広島金属工業協同組合

- ・コベルコ建機の協力会社等は、前年比更に増の生産計画が続いていたが、日野自動車より仕入れているエンジンの排気ガス認定不正事件の影響を受け、エンジン出荷が停止し各社の生産に影響が出始めた。
- ・年間での生産計画そのものは昨年比10%増加となつてはいるものの今後の見通しは不透明。

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

今年度に入って購入品が高騰し、顧客との値上げ交渉を実施しているが、どうしても売価決定にタイムロスが発生している。この様な傾向が、暫く継続すると思われる。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

出荷時期の変更などが要因となり、売上は前月比▲30%、前年同月比▲5%となった。また、内外需とも高い水準を維持し、部品不足や金利上昇などのリスクが強まるなかでも需要は底堅い動きである。

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

電子部品の需要の低下、一部電子部材の調達難や価格の高騰などが要因となり、売上は前月比▲30%、前年同月比▲35%となった。また、最大の出荷先である中国での需要失速により、部品の過剰在庫が発生している。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

今春のロックダウンの影響からはマツダの生産は回復したが、未だ半導体の供給問題が残っており、予断は許されない状況にある。

【8月度 自動車 国内販売動向】

全需は290千台、前年同月比▲9. 3%と14ヶ月連続での前年割れ。(登録車は▲13. 3%と12ヶ月連続で前年比減、軽自動車は▲1. 9%と1ヶ月振りに前年比減少へ転じた。)マツダ車は+18. 4%と3ヶ月連続で増加しており、内訳としては、登録車+23. 6%(10. 2千台)、軽自動車▲1. 0%(2. 2千台)である。

【7月度 自動車 海外販売動向】

- ・アメリカの全需は 1, 149千台で、前年同月比▲11. 1%と12ヶ月連続で減少。マツダは▲28. 5%と、前年同月を4ヶ月連続で下回る結果となった。
- ・欧州の全需は1, 051千台で、前年同月比▲7. 5%と13ヶ月連続で前年を下回る。マツダは▲52. 8%と前年同月を6ヶ月連続で下回った。
- ・中国の全需は2, 051千台で、前年同月比+10. 0%とまた2ヶ月連続で増加。マツダは▲33. 0%と16ヶ月連続で前年割れとなった。
- ・引き続きコロナの影響で、マツダの7月の海外販売は、殆どの地域でマイナス。合計台数は69. 6千台、前年同月比▲26. 7%と12ヶ月連続で前年比減となった。

【7月度 輸出・国内生産動向】

- ・マツダの輸出台数は、前年比+45. 2%と7ヶ月振りに増加。
- ・マツダの国内生産台数は、前年同月比+20. 4%と持ち直した。

●輸送用機械器具（造船）
（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和4年7月の船舶建造許可実績は1隻、24,000総トンであった。（前月2隻114,250総トン。前年同月3隻、323,800総トン。）なお、内訳は輸出船が1隻で貨物船であった。
（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

既存市場に対する売上拡大が大きく期待できない中、コロナの影響の一定の沈静化に伴い、新規オリジナル商品の開発や展示会等イベント活用による販路拡大、企業連携促進による高付加価値化等の動きが、僅かながら見られる。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

商品供給不足、値上が継続中だが、非住宅案件の設備投資増加で見積状況も昨年よりアップ状況。

●卸売業（量・敷物）

広島県蘭製品商業協同組合

- ・びんご畳表では、8月は各商店の積極的な営業活動や需要の増加により売上は前年比121.3%となった。
- ・JAS畳表は、前年比101.9%とほぼ前年実績で推移。
- ・円安の影響により、中国産の輸入が減少、在庫での販売を続けている。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・コロナ第7波の到来に消費動向が鈍るなか、青果の取扱高は前年実績を上回ったが、水産の取扱高は前年実績を割り込んだ結果になった。
- ・食料品小売業者は飲食・宿泊業者向け需要が回復途上であることに加え、秋の値上げラッシュによる青果物の買い控えなどの消費動向、ネット通販やドラッグストアによる生鮮食品の取扱い増加により、ますます売上高や売上利益が前年実績に満たない状況が続くと想定される。
- ・食料品小売、飲食などの中小零細事業者はコロナ第7波の影響を受け、売上が回復しないなか、仕入コストや経費の増加分を価格転嫁できず、慢性的な人手不足、補助金の打ち切り、コロナ対策資金の返済が重なり、事業継続に苦心している事業者も出てきている。

協同組合三次ショッピングセンター

一部の事業者は仮店舗での営業中であるため昨年よりは売上ダウンしているが、各社顧客の囲い込みができており安定した売上を確保している。新型コロナウイルスの感染者数は過去最高だが来店や消費には影響がほとんど見られない。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和4年7月度販売実績103%（前年同月比）。AV商品98%、白物商品114%、薄型テレビ100%（内有機EL122%）、DVD84%、冷蔵庫109%、洗濯機130%、IHクッキングヒーター102%、エコキュート121%、エアコン117%、炊飯器105%、電子レンジ68%、掃除機180%。コロナが再拡大している中、注意しながらの営業活動は定着しているが、依然として慢性的品不足は続いている。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

3年ぶりとなる行動制限の無いお盆休みで、交通量が増加した事により、8月の上旬～中旬にかけて販売量が増加。ただし、下旬は販売量が低下。中旬までの増加は、コロナ禍からの回復によるものだが、依然として感染者数は高いレベルで推移していることが、販売量低下の要因と想定される。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

- ・7月30日（土）に行われた呉中央地区商店街の土曜夜市の来場者数が2万人を超えた。今後は、10月23日（日）の海自カレーイベント、10月29日（土）～30日（日）のご当地キャラ祭りや11月5日（土）の呉食の祭典などのイベントが計画されている。ただし、呉市でも8月に入って新型コロナ感染者が急増しており、今後の情勢によっては、規模の縮小や中止の可能性もある。
- ・商店街のアーケード支柱の塗装工事を実施した。6年計画の2年目となる第2工区（24本）の作業が盆明けから開始され、9月初旬には完工予定。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月と同様で前年比▲0.8%
- ・車検場収入は、前月比▲2.6%、前年比▲2.9%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比1.2%増加、前年比▲0.2%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

閑散時期ではあるが、前年と比べると若干、稼働している。稼働上昇に期待したいが、コロナ感染拡大の下げ止まりが続く中、見通しは暗い。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

受注引き合いは引き続き好調であるが、電子部品の入手難および円安の影響がしばらく継続する見込み。また、売上高は前月・前年比共に減少したが、計画比ではほぼ計画通りとなった

●警備業

広島県警備業協同組合

業界全体を通じて人手不足が続いている。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

新築物件の減少が要因となり、カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計では8月は前月比13.3%減少、前年同月比1.4%増加。前年累計比1.4%増加となったが、一昨年累計比40.8%減少、3年前の累計比34.9%減少と芳しくない。新築件数が少なく、今年度は低調な状況が続く可能性が高い。

福山地区電気工事業協同組合

- ・8月分の受注件数は、281件（前年同月比73%）となった。
- ・コロナやウクライナ情勢等の影響によって物流が停滞しており、部材の入荷が遅れるなどの問題が生じている。

広島市指定上下水道工事業協同組合

工事受注件数が減少し、売上高が前月比・前年同月比共に減少している。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・8月の売上高は前月比減少、前年同月比増加。
- ・自動車業界全体として、コロナの感染拡大、半導体不足、物流停滞などの影響から車種を絞って生産したため、自動車関連の運送件数などは低調であった。
- ・軽油価格は、原油価格が下降し、政府が石油元売りに支給している補助金よりも原油コストが低下した事が要因となり、下降している。

松永地区トラック事業協同組合

8月の売上高は対前年同月、対前月ともに横ばいであった。7月と比べると多少荷動きが回復しつつあるが、盆休の関係で稼働日が少なく、売上全体では大きな変化はみられなかった。軽油価格は、多少の上下動はあるが依然として高止まりしており、荷主に対して運賃値上げ要請しているが全く実現出来ていない。

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

人材不足・従業員の高齢化が深刻である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高年齢化が進み船員不足の状態が続いており、若年船員が育っていない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比は、お盆休暇等休日が多かった分、納品が9月にずれ込んでいるので売上高等はやや減少し、収益も悪化。前年同月比は、特に変化なし。
- ・9月から来年2月頃まで国土交通省の地価公示作業や市町の3年毎の固定資産税標準宅地評価業務が始まるので、忙しくなると想定。
- ・不動産市場については、事業所用地・建売建築素地不足による業者の土地仕入価格の上昇が続いている。又、建設業者、建売業者、リフォーム業者等は依然として建築資材の納品遅延により、完成工事の遅れが出ている。マンション販売については、新築販売がやや鈍化している。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している。